

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年1月11日（月）～平成28年1月17日（日）〔第2週〕の感染症発生状況

第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.97人と前週（11.00人）からほぼ横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.83人と前週（2.28人）から増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.58人と前週（2.30人）から増加し、かなり高いレベルで推移しています。



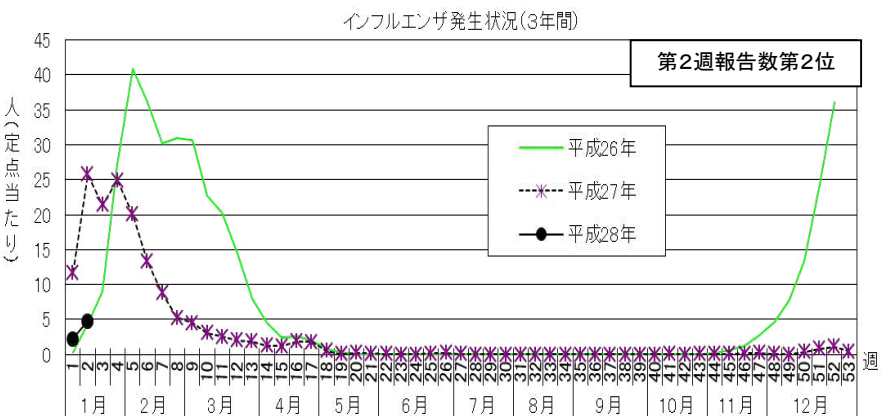
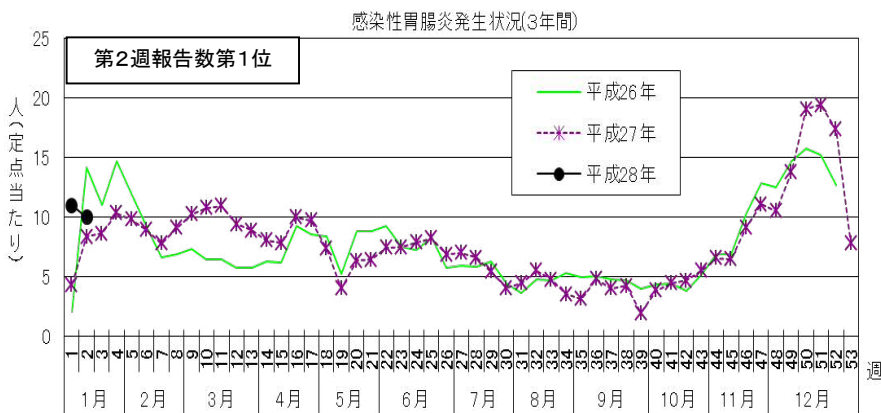
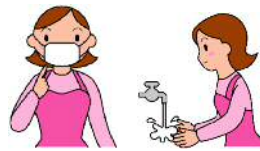
インフルエンザによる学級閉鎖の報告がありました

今シーズン初めて、高津区内の小学校からインフルエンザによる学級閉鎖の報告がありました。また、川崎市感染症情報発信システムのリアルタイムサーベイランスでも、高津区や宮前区を中心に市全域においてインフルエンザ患者報告数が増加しています。

インフルエンザと診断された場合は、ご自身のためにも、他の人にうつさないためにも、自宅でしっかりと休養をとりましょう。

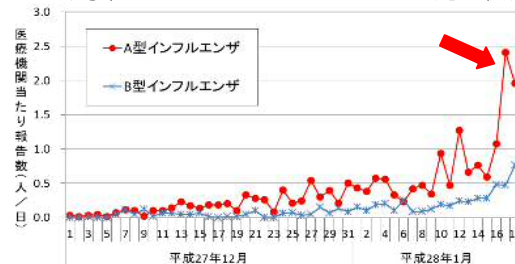
～インフルエンザにかからないために～

1. 飛沫感染対策としての咳エチケット（マスクの着用など）
2. 外出後の手洗い等
3. 適度な湿度の保持
4. 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
5. 人混みや繁華街への外出を控える



川崎市感染症情報発信システム (KIDSS)
リアルタイムサーベイランス公開情報

川崎市のA型・B型インフルエンザ発生状況



川崎市のA型インフルエンザ流行地図情報

